

一瞬だった 10 日間

藍住中学校 坂本 愛華

オーストラリアでの 10 日間、観光やホテルもとても楽しかったですが、ホストファミリーとバディと過ごす時間が何よりも楽しかったです。

日曜日の夕方、ホストファミリーと対面しました。私のホストマザーとその子どもたちは車で私たちを迎えに来てくれて、ホストファザーはペットの犬を連れて歩いて迎えに来てくれました。対面する前は、ずっと緊張していたし、不安でいっぱいだったけど、ホストファミリーはあたたかく私たちを迎えてくれたので安心したし、うれしかったです。家につくとルームツアーと自己紹介をしてくれました。その後、私たちの自己紹介をして、日本のお土産を渡しました。お土産で渡した扇子をホストシスターが学校に持って行っていたくらい気に入ってくれたのでうれしかったです。晩ご飯以外のご飯は全部ホストマザーが作ってくれたけど、晩ご飯は一緒につくりました。どのご飯もおいしかったです。放課後は、スーパー、テリガルビーチ、レストランなど毎日違うところに連れて行ってくれたし、夕食を食べ終わると折り紙、鬼ごっこ、カードゲームなどして遊んだり、私の誕生日会をしたりして、毎日とても楽しかったです。

学校で出会ったバディとは、休み時間にバレーをしたり、おやつを食べたり、恋バナをしたり、毎日みんなで盛り上がっていました。私がバディと過ごした時間で一番うれしかった瞬間は、私の誕生日を祝ってくれたことです。私の誕生日はいつも夏休みで、友達と会ったこともないし、バースディソングも家族からしか歌ってくれたことがなかったのでとてもうれしかったです。ホストファミリーも祝ってくれました。ケーキまで買ってくれてとても幸せな誕生日になりました。

そして金曜日、バディと過ごす最後の日、文化交流とお別れ会をしました。文化交流は日本のクイズ、日本の昔遊びの紹介、阿波踊りの披露をしました。文化交流は大成功で終わって、よかったです。文化交流が終わったら、これか



らも連絡がとれるようにインスタを教えてもらったり、パディと写真を撮ったり、たくさん泣いたお別れ会になりました。

この10日間、オーストラリアのこと、新しく知った単語、コミュニケーションのとり方など、ここには書き収まらないほどたくさんのことをこの藍住町中学生海外派遣事業で学びました。私は将来医療従事者になりたく、その時に外国人の患者さんが病院に来たら、英語で対応し、この派遣で学んだコミュニケーションを生かし、仕事をしたいです。

そして、海外派遣に行くことを許可してくれた家族と、町内の生徒を代表して派遣に行ったので町内でお住まいの方に私の経験を伝えたいです。このレポートを通して、藍住町中学生海外派遣事業に興味を持ってくれる子が増えたらいいと思います。

